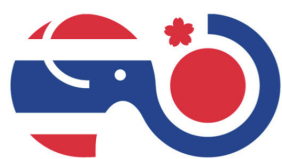


# タイは私をなぜ虜にしたのか？

日本タイクラブ<第7回>公開フォーラム

## タムブン 庶民の願い



日・タイ修好130周年  
2017

「タムブン（功德を積む）」は、タイ社会を貫く最大の仏教的観念です。タイの人は、人間の幸不幸は自分が積んだブン（功德）の多寡によって決まると固く信じており、いい人生を送るには「タムブン」は欠かせない日常行為となっています。私たちの眼からすれば、彼らは「生きるためにタムブンする」のか「タムブンのために生きている」のかわからないと思うことさえあります。

とりわけ、これといった特権もない庶民にとって、「タムブン」は自分の意思で行なえる唯一の幸福実現の手段です。「善を行なえば、善がやってくる」というだけにでもわかるこのシンプルな観念は、庶民の頭を占領し離れません。老若男女が自分のささやかな幸せを願い、「タムブン」を実践する姿にだれもが納得します。「タムブン」は、庶民の日常生活の流れの中に生きているといえるでしょう。

なぜ、タイ社会ではこうも「タムブン」が普遍的なのでしょう。か。「タムブン」の実際的な行為としてはどんなことがあるのでしょうか。

タイから招いた仏僧を交えて、仏教に詳しいディスカッサントの間で、とことん「タムブン」について議論します。広く捉えれば、贈与論が関係するのではと思いますが、私たち日本人にとっても「タムブン」は大変関心がある課題です。皆さんと一緒に考えてみます。



### 【ディスカッサント】

プラマハー・ソムポップ・  
サンパオー・リーンハラッタナラック  
(テープシリントラーワート寺院僧侶)

高井康弘 (大谷大学教授)

馬場雄司 (京都文教大学教授)

村上忠良 (大阪大学教授)

### 【コーディネーター・趣旨説明】

赤木 攻 (日本タイクラブ代表)



日時：2017年 **10月29日** [日] 13:45開会 (受付開始13:15)

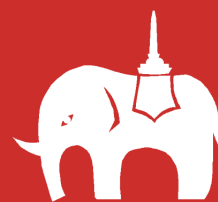
場所：佐治敬三メモリアルホール (大阪大学中之島センター10階) 大阪市北区中之島4-3-53

京阪中之島線 中之島駅より 徒歩約5分・阪神本線 福島駅より 徒歩約9分・JR東西線 新福島駅より 徒歩約9分  
JR環状線 福島駅より 徒歩約12分・地下鉄四つ橋線 肥後橋駅より 徒歩約10分・地下鉄御堂筋線 淀屋橋駅より 徒歩約16分

参加費：2,000円 お土産あり

主催：日本タイクラブ

後援：テープシリントラーワート寺院、タイ王国大阪総領事館  
公益財団法人 日本タイ協会、龍谷大学 世界仏教文化研究センター  
国際ソロプチミスト 大阪ーりんくう



日本タイクラブ